



目次 No.22

- ① 第52回県連定期総会 議事録
- ② 岐阜県連統一部会開催案内
- ③ 岐阜県連創立50周年 記念講演 案内
- ④ 全国連盟・岐阜県連行事案内
- ⑤ 創立50周年記念講演ポスター
- ⑥ 2024年版 労山カレンダー写真募集
- ⑦ 各会活動報告
 - ・ 岐阜ケルン山岳会 トンガリロサーキット
 - ・ 中津川勤労者山岳会 春山合宿 岳沢
恵那山山頂小屋の小屋開け
高峰山 (944.7m)
 - ・ 大垣勤労者山岳会 烏帽子岳と白馬岳
 - ・ 瑞浪山の会 春山合宿 甲斐駒ヶ岳 (2967m) 仙丈岳 (3033m)
 - ・ あるばいん KANI 西穂沢から西穂高岳
 - ・ 多治見ろうざん 春記念登山 立山 別山&奥大日岳 (2,606m)
 - ・ クリーンハイク 池田富士 (370m) から地球村
 - ・ みのハイキングクラブ 蕎麦粒山 (1296.6m)
大谷山 (356m) 滝谷山 (398.1m) 雁又山 (430m)
福地山 (1671.1m)
美濃俣丸 (1253.8m)
弥勒山 (436.6m)
猿ヶ馬場山 (1875m)
野登山 (851.4 m)
あつみトレイル 雨乞岳 (233m) ~ 大山 (328m)
市役所P清掃 御殿山 (559m) 鬼飛山 (290.8m) 平木山 (544.4m)
青葉山 (693m)
第29回 (2023年度) みのハイキングクラブ定期総会
古城山 (大桑城) (407.5m)
- ⑧ 今後の県連盟主催行事および理事会の予定
- ⑨ 各会のホームページ

岐阜県勤労者山岳連盟

第52回 定期総会 議事録

日 時 2023年3月26日(日) 10:00~11:45

会 場 大垣市江東(えひがし)地区センター

- 1 開会の宣言・・・西部事務局長(多治見ろうざん)
- 2 資格審査・・・事務局三宅理事〔代議員数22名〕出席21名、委任状1名 ⇒ 成立
- 3 議長・書記の選出 議長; 山北三枝子(大垣勤労者山岳会)
副議長; 古田日出夫(中津川勤労者山岳会)
書記; 棚橋 園子(大垣勤労者山岳会)
- 4 理事長挨拶・・・長沢理事長(大垣勤労者山岳会) 【議案書P1参照】
「登山時報」、「ろうさんニュース」、「全国連盟メールニュース」が統廃合され、月刊の機関紙「労山ジャーナル」、季刊の機関誌「登山時報」に移行し、電子版としてメール配信(無料)されることなどが報告された。
- 5 議案説明 2022年度総括と2023年度方針案 【議案書P3~18参照】
 - (1) 2022年度県連活動の概況報告: 長沢理事長
各会議、クリーンハイク、各講習会、各訓練及び山祭りの実施結果等の報告
 - (2) 組織部: 渡邊部長(中津川勤労者山岳会)
 - ① 総括として退会が21人、入会が31人で会員数が10人増えたこと。
 - ② コロナ禍で行われなかった山まつりが3年ぶりに富士見台への各会それぞれのルートからの集中登山という形で実施し、過去最高となる85名の参加者によって各会の交流が図られた。との報告があった。
 - ③ 山まつりは2023年10月15日瑞浪山の会主催にて実施予定。
 - (3) ホームページ担当: 土屋部長(岐阜ケルン山岳会)
 - ① 11月~2月に更新ができない事案が発生したが、全国連盟の協力を得て回復した。
 - ② 事務局が配信アップしてきたが、組織拡大の観点から組織部の協力が必要。
 - (4) 遭難対策部: 小酒井部長(あるばいんKAN I)
 - ① 講習会の開催結果報告 雪山歩行技術講習会、岩登り講習会の実施
 - ② 全国遭難対策担当者議参加。東海ブロック雪崩講習会参加(机上6名、実地4名)
 - ③ 各会遭難対策部との情報交換 今年度発生事故例の紹介、講習会内容の検討。
 - ④ 労山山岳事故対策基金申請対象登山事故一覧 5件
 - ⑤ 2023年度活動方針 登山中の事故を無くすことを目的とする。
 - (5) 機関誌部: 平識部長(瑞浪山の会)
 - ① 機関誌 県連ニュース4回発行。
No21は2023/03/20に発行 東海ブロック雪崩講習会報告、全国連盟評議会報告
 - ② 2023年度も年間4回発行予定
 - (6) 自然保護部: 五十川部長(みのハイキングクラブ)
 - ① クリーンハイクの実施結果 6団体、8ヶ所、のべ184名参加。(登山道整備も含む)
 - ② 山を汚さない、傷つけない登山の継続 ストック、携帯トイレについて
 - ③ 「第25回全国自然保護講座 in 滋賀」に参加。風力発電設備建設の自然破壊問題。

(7) 事務局：西部事務局長

- ① 県連 50 周年行事として記念講演会を 2023 年 8 月 27 日（日）に羽島市の不二羽島文化センターみのぎくホールにて開催予定。
講演者はココヘリ創業者 オーセンテックジャパン代表の久我一総さんを予定し、命を守る事業をやる意気込み、その精神性を聞いてみたい。
- ② 労山カレンダーの掲載写真の募集について、応募したらカレンダーは無料となり、当選したら 10,000 円の賞金がある。

(8) 救助隊：小酒井遭対部長

- ① 各会に埋没者探査用のゾンデ棒を配布。
- ② 2023 年度の積雪期搬出訓練の日には 2 月 18 日に決定。（1 月が望ましいは消す）

(9) 財政部：堀部長（大垣勤労者山岳会） 2022 年度収支決算報告

(10) 会計監査：結城さん（岐阜ケルン山岳会）2022 年度会計監査報告

(11) 2023 年度予算方針案及び予算案説明：堀部長

2022 年度はコロナウィルス感染拡大による県連活動縮小に伴い当該年度のみ連盟日を 1,000 円減額としたが、2023 年度は通常通り年額 3,000 円とすることとした。岐阜県連創立 50 周年記念行事を実施予定であり、この予算として 30 万円を計上し予算案を作成した。

(12) 2023 年度役員案 長沢理事長 各会の県連理事を紹介

6 質疑応答

* 専門部の総括及び方針案についての再確認だけで、問題提起はなかった。

確認 1 労山カレンダーに写真を応募した場合、カレンダーが進呈されるのか。

〔回答〕応募者にカレンダー 1 部進呈、採用された方には謝礼 1～2 万円がでます。

確認 2 P14 救助隊 2023 年度活動方針案 積雪期搬出訓練 2/18…1 月が望ましい、とあるが、各会の山行日程のこともあるので、決めておいてほしい。

〔回答〕1 月は雪崩講習会、雪山歩行講習会があり、「1 月が望ましい」は削除します。

7 議決：各専門部総括、方針案、決算、予算方針案、予算案 承認可決

以上の 2022 年度総括と 2023 年度方針案、2022 年度収支報告、2023 年度予算案を採決した結果、全ての議案が、出席代議員全員の賛成により成立しました。

8 2023 年度役員（理事、会計監査）選出 承認可決

2023 年度理事候補者の全員が代議員全員の賛成により承認されました。

任務分担と会計監査については総会後の第 1 回理事会にて決定する旨報告。

9 加盟団体の活動報告（7 団体） 【議案書 P 19～27 参照】

各会・クラブからの年間活動報告（7 団体） 同一の報告項目

- | | |
|--------------|--------------|
| ➢ あるばいん KANI | ➢ 中津川勤労者山岳会 |
| ➢ 大垣勤労者山岳会 | ➢ 瑞浪山の会 |
| ➢ 岐阜ケルン山岳会 | ➢ みのハイキングクラブ |
| ➢ 多治見ろうざん | |

10 閉会の挨拶・・・長沢理事長 全員で記念写真

以上、書記・記録：棚橋（大垣勤労者山岳会）

岐阜県連統一部会開催案内

開催日 : 6月18日(日曜日)9時~12時

会場 : 小泉公民館 <https://goo.gl/maps/w9Qn6UuNSgws6vE29>
大ホール

主な内容 : 9:00~9:10 開会挨拶他
9:10~10:00 各専門部分科会
10:00~10:30 分科会報告
10:30~11:30 岐阜県連50周年記念行事に関して
記念講演開催に向けて。

専門部部会 組織部会 渡邊 隆弘

遭難対策部会

機関誌部会

自然保護部会

協議事項は、2023年度県連活動方針の説明と、具体的活動内容の検討
所属山岳会の活動方針等。

各会は、1名から2名各専門部に参加して下さい。

用意する物は、第52回県連議案書、会の議案書(有れば。)

岐阜県連創立 50 周年 記念講演 案内

開催日 : 8月27日(日曜日) 開演 12時

講演 : 13時~15時

会場 : 不二羽島文化センター

場所の詳細 <https://goo.gl/maps/ZqnUnLDoArJS3Juc8>

講演者 : 久我 一総「カズフサ」 AUTHENTIC JAPAN株式会社 代表

講演テーマ : 登山者の人命救助をライフワークにした人から学ぶもの

講演を聴くにあたり :

AUTHENTIC JAPAN株式会社は、遭難者の居場所を、無線で発信して、ヘリコプターや、地上搜索を、受信機を使用して一早く救助を行うための、発信機をレンタルする会社です。

最初は、痴呆症の叔母が徘徊した時に、居場所を搜索する「ひとここ」から始まりました。今は多岐に渡り事業展開をされています。

山岳団体とタイアップして、人命救助の一役を担って見えます。

登山用品メーカーの、日本のオーナーも多く見えますが、異色の存在と思います。

私達が所属する、日本勤労者山岳連盟は、ココヘリを通して人命救助の一役の仲間です、私達の仲間でもあります。

私がココヘリを持ったきっかけ 多治見ろうざん 西部

講演会に参加するにあたり、ココヘリを見た事も、聞いた事も無い方に、登山体験からココヘリが、どんなものか想像してほしいと思います。

私が遭難しかけた、体験です。

2019年3月23日24日、メンバー2名で、頂上山荘にてテント泊して唐松岳登頂。

八方池山荘を10時出発、唐松頂上山荘14時30分到着、小屋の陰で風の影響が少ない場所を選びテントを設営、地面が氷の床となり、ピッケルで穴をあけて、やっとのことでペグを差し込み設営。

テント設営の頃は風も10m以下でした。はっきり時間は分からないが、夜になり強風が吹き荒れる、二人対角線状に座り、ポールが折れ曲がらないか心配でした、テントの下に風が回り込まない様必死に押える一夜を過ごした。

どれだけ寝たか良く分からない、明るくなって外を歩く足音が聞こえる、アイゼンの氷を砕く音でした。風は一向に弱まらない。

テントから首を出すと、警察官2名と他4名位居ただろうか。ピッケルで窓の養生板をめくり、小屋の中に入る様だ。

小屋の中に入るのを見て、私たちも入れて下さいと、懇願しました。警察官の方は、君らも遭難の可能性があるので、入って休んで良いと言われた。

救助隊は雪洞を掘って一夜をすごしたようです。

しばらくすると、遭難者の3名が小屋に入ってきた、一名が小屋の手前で滑落して遭難した様でした。警察官は無線で情報を集めていましたが、何方の斜面に滑落したかも分からない様で、風が弱まるのを待っている様でした。

風が少し弱まってきたので、私たちは下山しました。

下山する中で、救助隊は遭難者の居場所が特定出来ないと、厳しい冬山では搜索活動はしない事を、実際に体験して、自分の居場所を知らせる重要性は、とても大きいと感じました。ビーコンは装着して登山をしましたが、ビーコンだけでは助からないと思いました。自宅に戻り、すぐに「ココヘリ」を所持する事が大事と判断して、入会手続きを行いました。

現在は、登山には、ココヘリ、コンパス、笛、ナイフをセットした物をジップロックに入れてます。

労山に入会して、労山基金と個人賠償保険に加入していました、何年前に個人賠償保険を取り扱わなくなり困っていた所に、ココヘリで個人賠償保険の補償が1億円有る事を知り、ココヘリに入って良かったと思っています。

ココヘリに興味を持ち、講演会参加に繋がればと思います。



ココヘリ

ココヘリ、笛、コンパス、ナイフをセットにして所持。

全国連盟・岐阜県連行事案内

全国連盟行事

1. 労山基金説明会 ZOOMによるオンライン説明会
各会の基金担当者向け説明会 6月28日 19時～20時30分
申込：https://www.jwaf.jp/topics/topics/2023/0427_891.html
上記にアクセスして参加申込して下さい。申込は始まっています。
一般会員向け説明会 7月5日 19時～20時30分
申込手続きは未だです、後日報告します。
2. 全国自然保護担当者会議 6月20～21日（土・日）
<https://www.jwaf.jp/activity/working/02shizen/index.html>
埼玉県長瀬町
3. 登山と山岳文化の教養講座・夏 読書会6月27日（火）19時～
<https://www.jwaf.jp/activity/japan/index.html>
夏季、秋季、冬季と開催される
4. 全国救助技術交流集会 7月8日（土）～9日（日）
<https://www.jwaf.jp/activity/working/01sonan/index.html>
北海道小樽
5. 全国ハイキングリーダー学校 9月30日（土）・10月1日（日）
<https://www.jwaf.jp/activity/working/03hiking/index.html>
奈良市

上記の問合せは、県連事務局（西部）に連絡下さい。

岐阜県連行事案内

1. 7月2日（日曜日） 県連救助隊主催 救助隊無雪期搬出訓練
詳細はまだ、未定です。
2. 8月27日（日曜日）岐阜県連創立50周年記念講演会
詳細は、県連ニュースのポスターを参照して下さい。
労山会員は、無料です。
3. 9月3日（日曜日） 県連遭難対策部主催 岩登り講習会
詳細はまだ、未定です。



岐阜県勤労者山岳連盟 創立50周年記念講演

登山者の人命救助 をライフワークにした 人から学ぶもの



8/27 開演 12:00
講演 13:00~15:00
SUN

不二羽島文化センター みのぎくホール

〒501-6244 羽島市竹鼻町丸の内6丁目7番地
TEL.058-393-2231 FAX.058-393-2230

問合せ先

県連事務局:西部 一政
090-7021-4015
qq3z6zdd@biscuit.ocn.ne.jp

入場料

500円

ACCESS



講演者

久我 一総

Kazufusa Kuga

Profile

ライフハザードカンパニー
AUTHENTIC JAPAN代表

1978年福岡生まれ 西南学院大学を卒業後、2002年パナソニック株式会社に入社、2012年同社退社、AUTHENTIC JAPAN株式会社を起業「ヒトココ」を開発、年寄りの徘徊や子供の迷子を見つける機会があれば良い。2016年「ココヘリ」を開発 山岳遭難した時に居場所が分かるだけでなく、もしもの時はヘリで捜索に来てくれる。現在、6社の航空会社と、全国34都道府県の警察・消防航空隊・防災ヘリが、受信機導入している。山から街へココヘリタウンをめざす。

主催:岐阜県勤労者山岳連盟

あるばいんKANI・大垣勤労者山岳会・岐阜ケルン山岳会・多治見勤労者山岳会・中津川勤労者山岳会・瑞浪山の会・みのハイキングクラブ



2024年版

労山カレンダー 写真募集

募集期間

6月26日(月) 必着

採用された方には謝礼2万円
すべての応募者にカレンダー
1部進呈

今回も労山会員の山写真で
カレンダーをつくります
全国の皆さんの自慢の1枚を
お待ちしております！



応募規定

資格：労山会員

点数：一人5点まで

期日：6月26日必着

写真：横位置のみ、合成不可

- ・データの場合
1000万画素数以上（縦2500×横3500ピクセル以上）
形式はJPEGまたはTIFF
- ・フィルムカメラ作品の場合
B4サイズにプリント、もしくはデータ化したもの
- ・人物が主題の作品は、写っている人の許諾を得ていること

※写真はトリミングさせていただくことがあります。

※カレンダー（B4判・中綴じ）掲載時の仕上り寸法は257mm×364mmです。

採用作品は下記にも掲載いたします。予めご了承下さい。

- JWAF journal の表紙

- 日本勤労者山岳連盟ホームページのトップ

スマートフォンで撮影される方へ

毎年、素敵な構図なのに画質の問題で選考外になる写真が多数あります。

縦2500×横3500ピクセル以上のサイズで撮影してください。

選考規定

採用数：表紙および1月～12月の計13点

選考：小松由佳さん（フォトグラファー）

応募方法

WEB応募

<https://ws.formzu.net/dist/S28243176/>



今年のWEB応募は、
専用フォーム＋
ギガファイル便

郵送

CD-R又はUSBで送付。フィルムカメラでの作品はデータ又はB4サイズのプリント写真で送付。

氏名・所属会・地方連盟・住所・電話番号・メールアドレス、各作品名・被写体の山名（山域）・撮影年月日を明記してください。

送付先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

日本勤労者山岳連盟

※返却を希望する場合は、返却先を記載して切手を貼った返送用封筒を同封してください。